

久留米工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	リベラルアーツ特論1 (英語構文研究)
-------------	------	-----------------	------	---------------------

科目基礎情報

科目番号	5SG07	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	制御情報工学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	配布資料		
担当教員	安部 規子		

到達目標

- (1) 自分の専門分野に関する英文をある程度のスピードをもって読解し、わかりやすい日本語にすることができる。
(2) 自分の専門分野に関するトピックについて、わかりやすい英語でまとまった内容を書くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 語彙	専門的な内容を伝える語彙が習得されている。	基本的な語彙は習得されている。	基本的な語彙が習得されていない。
評価項目2 リーディング	英文の内容を十分理解し、わかりやすい日本語にできる。	英文の内容の大筋を理解し、日本語に直すことができる。	英文の内容がわからないし、日本語にも直せない。
評価項目3 ライティング	適切な構文と語彙を用いて、英文を書くことができる。	基本的な内容は英文で伝えることができる。	構文も語彙も適切な英文が書けない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	この授業では、やや高度な内容の英語のリーディングとライティングを行う。語彙と基本文法を復習するとともに、それらを応用して、さらに発展的なレベルのリーディングとライティングができるようになることを目標にする。
授業の進め方・方法	順番で担当学生が適切な内容とレベルのリーディング及びライティング課題を用意し、自分なりの解答解説を行い、全員でのディスカッションにより、さらに完成した日本語や英文をめざす。
注意点	毎回課題を出すので、必ず授業で提出すること。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション	この授業の目的を理解する。
		2週	Reading 1	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		3週	Writing 1	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		4週	Reading 2	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		5週	Writing 2	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		6週	Reading 3	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		7週	Writing 3	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		8週	復習	これまでの内容を復習する。
	2ndQ	9週	Reading 4	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		10週	Writing 4	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		11週	Reading 5	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		12週	Writing 5	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		13週	Reading 6	英文のアウトラインとともに、構文研究に基づいて和訳を行う。
		14週	Writing 6	短文の復習とともに、ある程度の長さのある英文を書く。
		15週	復習	これまでの内容を復習する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	40	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0